

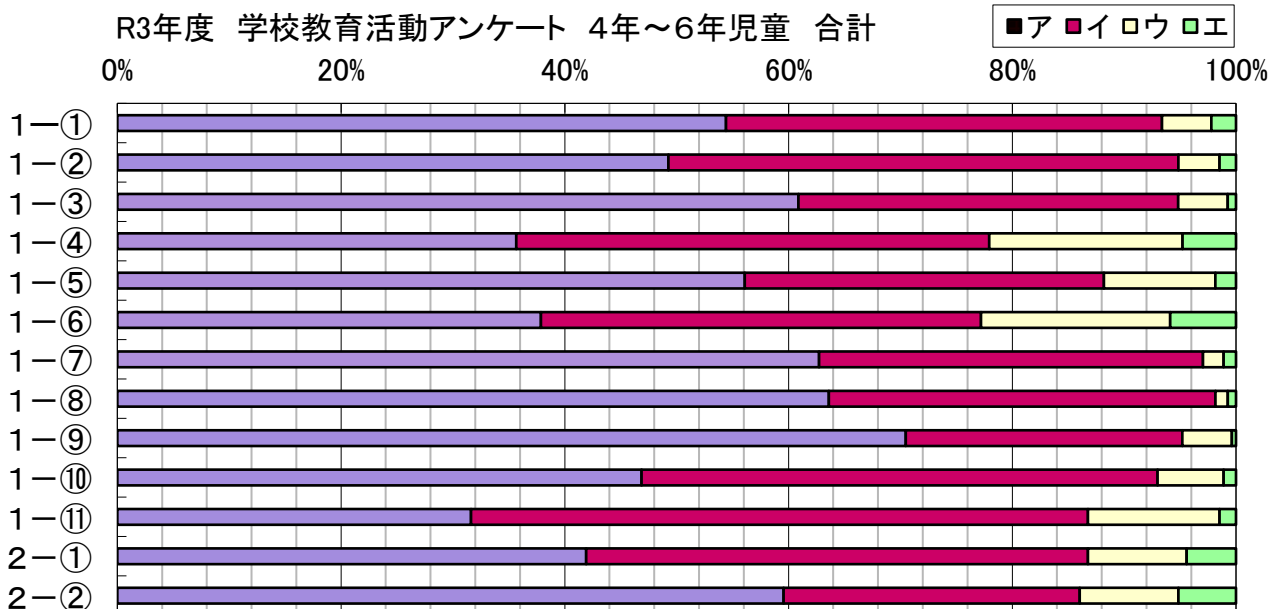
学校教育活動アンケートの結果について

1月21日からまん延防止等重点措置が指定されたことにより、6年生社会見学や授業公開等の学校行事を中止せざるを得ない状況になってきています。急な変更で大変ご迷惑をおかけしています。どうぞご理解とご協力をお願いします。

さて、保護者の皆さんには、学校教育活動アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。児童アンケート（4～6年生対象）と合わせ、設問と結果概要を報告いたします。アンケートには、「ア：そう思う、イ：まあまあそう思う、ウ：そう思わない、エ：全く思わない」から回答いただきました。学校として、アとイは「肯定的」、ウとエは「改善が必要な項目」ととらえ分析、検討を行いました。この結果は、今後の学校運営の改善活動に活用させていただきます。

- | 設問 | ア | イ | ウ | エ |
|---|-----|-----|-----|----|
| 1-① 学校に来ることが楽しい。 | 95% | 4% | 1% | 0% |
| 1-② 授業は、わかりやすく、楽しい。 | 90% | 8% | 2% | 0% |
| 1-③ 授業では、みんなの発表をしっかりと聞いている。 | 60% | 35% | 3% | 2% |
| 1-④ 授業では、よく発表している。 | 35% | 55% | 8% | 2% |
| 1-⑤ 体育の授業、行事や休み時間などの活動の中で、体づくりや運動をしている。 | 55% | 35% | 8% | 2% |
| 1-⑥ 本を読むのが好きだ。 | 40% | 45% | 12% | 3% |
| 1-⑦ 授業で学習したことが将来の役に立つと思う。 | 65% | 30% | 3% | 2% |
| 1-⑧ 友だちやまわりの人の気持ちを大切にしている。 | 65% | 30% | 3% | 2% |
| 1-⑨ 自分のことをわかってくれる友だちがいる。 | 70% | 25% | 3% | 2% |
| 1-⑩ あいさつをきちんとしている。 | 50% | 40% | 8% | 2% |
| 1-⑪ ろうかは、走らないでしずかに歩いている。 | 45% | 45% | 8% | 2% |
| 2-① 自分にはよいところがあると思う。 | 40% | 50% | 8% | 2% |
| 2-② 将来の夢や目標をもっていますか。 | 60% | 35% | 3% | 2% |

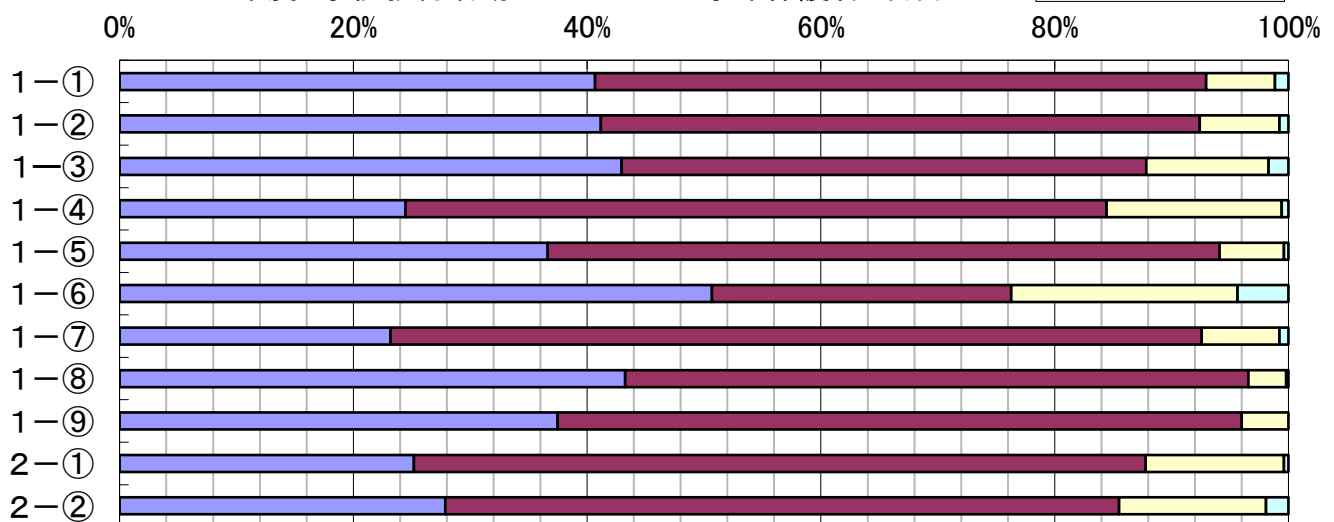
児童アンケート



ほごしや
保護者アンケート

- 1-① 学校に喜んで登校している。
- 1-② 家庭学習（宿題など）の習慣が身についている。
- 1-③ 明日の学習の準備を忘れずに自分でしている。
- 1-④ 家庭や地域できちんとあいさつをしている。
- 1-⑤ 友達や家族、まわりの人の気持ちを思いやって行動している。
- 1-⑥ 読書の習慣が身についている。
- 1-⑦ どの子も自分の力を発揮して、学習や様々な活動に参加している。
- 1-⑧ 学校は、基礎・基本（読む力・書く力・計算する力）の定着に努め、学力の向上に取り組んでいる。
- 1-⑨ 学校は、体育の授業や様々な活動を通して、体力の向上に取り組んでいる。
- 2-① 学校、学年、学級の通信や学校ホームページ等で、十分に学校の様子がわかる。
- 2-② 学校の様子を見る機会として、授業参観、自由参観、学校行事等を十分に行っている。

R3年度 学校教育活動アンケート 全学年保護者 合計



たの
楽しい学校について

児童 1-① 「学校に来ることが楽しい」 93%

保護者 1-① 「学校に喜んで登校している。」 93%

今年度も昨年度に引き続き、感染症対策のためにたくさんの制約がある中で学校の生活となりました。また、学校に来ることができない休校期間には、オンライン授業の取り組みはありましたが、対面での授業のよさを感じる機会ともなったようです。子どもたちは、学校で友達と一緒に学んだり遊んだりできることの楽しさを実感しているように思われます。一生懸命に学習に取り組む姿や元気に友達と遊ぶ姿はいきいきと輝いています。私たち教職員も、感染症対策をしっかり行いながら、その中でもできることを様々に工夫して、子どもたちに充実した学校生活を保障したいと取り組んでいます。また、一人ひとりの子どもが認められる場や活躍できる場をつくり、すべての子が「楽しい」と思えるような学校づくりを目指しています。

確かな学力の定着について

児童1ー② 「授業は、わかりやすく、楽しい。」 95%

保護者1ー⑧ 「学校は、基礎・基本の定着に努め、学力の向上に取り組んでいる。」 97%

今年度は、休校期間の遅れを取り戻すために、朝の学習も授業時間として確保し、学習内容を工夫してきました。また一人1台のタブレットを用いICTを活用した学習も増えました。どの子ども集中してよく学習に取り組むことができたと思います。

私たち教職員も、子どもたちの意欲を引き出し学びに向かう力を育成できるよう、課題に対して自ら考え学び合い深め合える授業が実践できるように研修を積み重ねていきます。

児童1ー③ 「授業では、みんなの発表をしっかりと聞いている。」 95%

児童1ー④ 「授業では、よく発表している。」 78%

羽津小学校の子どもたちは普段からよく話を聞こうとする意識が高いと感じます。また、自分の考えを大勢の前で話すことを苦手と思う子どもたちが昨年より減ってきました。思考する力は、聞いて考えて表現して、また相手の意見を聞いて考えて表現する、という活動の繰り返りで深まっています。「学びの中で考えを書く」「授業の振り返りを記述する」ことを大切にして、考えを伝え合う力を高めたいと考えます。そのために、授業中のペア・グループ活動をだいにし、タブレットを活用した表現も加えるなど、友だちと考えを交流・共有できたという達成感を味わえるような授業づくりに努めていきます。

児童1ー⑥ 「本を読むのが好きだ。」 77%

今年度は、図書室で1度に借りられる冊数を2冊に増やしました。子どもたちは楽しそうに本を選んでおり、年3回の読書週間など十分な時間が取れるときには、熱心に読書する姿がたくさん見られます。図書ボランティア（まざりいずさん）・司書による読み聞かせやブックトークはいつも大人気です。また、家庭読書（ふれあい読書）にもご協力いただきありがとうございます。

児童1ー⑦ 「授業で学習したことが将来の役に立つと思う。」 97%

学習したことが将来の役に立つと素直に感じられることで、意欲が向上し学習の定着が進むと考えます。今の学習が将来にどうつながるのか、学年に応じて話題にしていきたいと思います。

保護者1ー② 「家庭学習（宿題など）の習慣が身についている。」 92%

家庭学習は、授業の復習や予習を通じ、基礎・基本となる力を定着させ、子どもたちの学力を向上させようとするものです。また、課題を自分の力でやり遂げてきちんと提出する習慣をつけることは、将来にわたって必要な大切な力にもなります。家庭学習を通して、自主的に学ぶ習慣を身につけさせるため、学習に取り組んでいるようすを見守っていただくなど、ご家庭のご理解・ご協力をお願いいたします。年度初めにお配りした「家庭学習について」も参考にしてください。

心の教育の充実について

児童1ー⑩ 「あいさつをきちんとしている。」 93%

保護者1ー④ 「家庭や地域できちんとあいさつをしている。」 84%

挨拶は人同士のコミュニケーションの基本です。学校でも場に応じた挨拶がしっかりとできる子どもの育成は、とても重要な課題ととらえています。地域の皆様からも挨拶ができていない子がいることのご指摘を受け、クラスや学年での指導、また児童会の「あいさつ運動」などの活動に取り組んでいま

す。挨拶のできる子どもは「おはよう。」や「さようなら。」だけでなく、「こんにちば。」「いただきます。」「ごちそうさま。」「いってきます。」「ただいま。」など、あらゆる場面ですっきりとできる、そして気持ちよく返してもらえる環境から生まれるものだと考えます。これからは家庭、学校、地域が連携して挨拶のしっくりとできる「羽津っ子」に育てていきたいと考えます。

児童1-⑧ 「友だちや周りの人の気持ちを大切にしている。」98%

児童1-⑨ 「自分のことをわかってくれる友だちがいる。」95%

保護者1-⑤ 「友だちや家族まわりの人の気持ちを思いやって行動している。」94%

羽津地区の地域・学校・家庭が連携して子どもたちを温かいまなざしで育ててきている強みが表れているといえます。互いに分かり合える友だちがいることは、一人ひとりの子どもにとって学校が楽しく、また安心できる居場所があることにつながります。これは、友だちや周りの人の気持ちを大切にしていることや互いに理解し合っているからだと考えます。

一方で、自信を持てない子どもがいることを見過ごすことはできません。日々の教育活動を初め、道徳や人権教育、キャリア教育や様々な場で一人ひとりに自信や達成感を持たせ、自己肯定感や自己有用感を高める取組を進めていきます。

児童2-① 「自分にはよいところがあると思う。」87%

児童2-② 「将来の夢や目標をもっていますか」88%

保護者1-⑦ 「どの子ども自分の力を発揮して学習や様々な活動に参加している。」93%

授業はもちろん、学校行事や体験学習などを通じ、コロナ禍に対応しながら学年に応じたキャリア教育の取組を進めています。また、日々の授業や様々な教育活動の場で、一人ひとりが学ぶ意味を見出し、自己肯定感を高めることができるようなきめ細かな指導や支援に努めます。

健康・体力と安全意識の向上について

児童1-⑤ 「体育の授業、行事などの活動の中で、体づくりや運動をしている」88%。

保護者1-⑨ 「学校は、体育の授業などを通して、体力の向上に取り組んでいる。96%

普段の体育の授業や運動会など、感染症対策を講じながら運動の機会を確保してきました。密の回避やマスクの着脱など課題はありますが、今後も、運動することが楽しいと思える体育の授業づくりや、日頃からクラス遊びなどの日常的に運動に親しむ場づくりに取り組んでいきたいと思います。

家庭や地域とつながる学校について

保護者2-① 「通信や学校ホームページ等で、十分に学校の様子がわかる。」88%

保護者2-② 「学校の様子を見る機会として、授業参観、行事等を十分に行っている。86%

今年度は「授業を見る機会が少なく残念だった」というご意見をたくさんいただきました。感染症の流行が早く落ち着き、お子さんが活躍する姿を安心して見ていただけるようお願いしています。

家庭・地域での教育と学校教育が連携することは、子どもたちの良い成長につながると考えます。今後も機会を工夫するとともに、通信や学校ホームページ等で学校の様子を発信していきます。

自由記述欄には、感染症対策に関わった感想やご意見などの他、学校が気付いていなかったことへのご意見、担任の指導や取り組みに対するエールなど、いろいろな視点から貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。